

令和2年度

教育委員会事務の点検及び評価に関する報告書
(平成31年度(令和元年度)事業)

鏡野町教育委員会

I はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号。以下「地教行法」という。）第26条の規定により、教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととなっています。

本報告書は、平成31年度（令和元年度）における鏡野町教育委員会の活動及び事務について点検及び評価を行い、その概括を報告するものです。

II 点検及び評価の対象

次の項目について、平成31年度（令和元年度）の実績に基づき点検・評価を行いました。

- ①鏡野町教育委員会の活動状況
- ②鏡野町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況

III 点検及び評価

1 教育委員会の活動状況

① 教育委員会の開催

教育委員会は、定例会を毎月1回と、必要に応じて臨時会を開催しています。平成31年度（令和元年度）は、定例会を12回、臨時会を2回開催しました。毎回全員が出席し、十分な時間をかけて審議及び協議を行いました。

日にち	主な議決・協議事項
4月26日	鏡野町総合文化施設条例施行規則改正 鏡野町学校評議員の委嘱 鏡野町社会教育委員（兼公民館運営審議委員）の委嘱 鏡野町総合文化施設運営審議会委員の委嘱 鏡野町郷土館運営委員の委嘱、
5月22日	鏡野町学校給食食物アレルギー対応食に係る医師意見書作成料補助金交付要綱制定
6月20日	アレルギー対応食 児童生徒夢づくり事業
7月24日	文化財の指定・解除 令和2年度使用教科用図書採択
8月7日	（臨時）令和2年度使用小中学校教科用図書採択
8月29日	鏡野町いじめ問題対応策基本方針改定 鏡野町子ども読書活動推進委員会設置要綱制定 鏡野町子ども読書活動推進委員の委嘱 令和元年度学力学習状況調査結果
9月20日	鏡野町立幼稚園保育料徴収条例施行規則改正

	鏡野町子ども読書活動推進委員会設置要綱制定 令和元年度学校訪問
10月29日	鏡野町立図書館の開館時間延長アンケート結果
11月20日	鏡野町立小・中学校通学区域に関する規則改正 鏡野町特別支援教育就学奨励費支給要綱改正 鏡野町立学校における働き方改革ワークスタイルプラン策定 公の施設に係る指定管理者の指定 令和元年度学校訪問結果
12月12日	鏡野町立学校管理規則改正 鏡野町立中学校不活動大会出場費補助金交付要綱制定
1月22日	鏡野町教育委員会事務委任規則改正 鏡野町学校給食共同調理場職員服務規程改正 卒業式・入学式
2月27日	鏡野町立保育園・幼稚園のあり方検討委員会設置要綱廃止 鏡野町立学校整備審議会規程廃止 卒業式・入学式告示 新型コロナウイルス対応
3月13日	(臨時) 県費職員の任免について
3月18日	鏡野町子ども・子育て支援法施行規則第1条の市町村が定める時間及び同令第8条第4号の市町村が定める期間を定める規則改正 鏡野町教育委員会課設置及び庶務規則改正 鏡野町立学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則制定 鏡野町町費負担教員の任用等に関する規則改正 鏡野町文化資源保存伝習館条例施行規則改正 鏡野町文化財保護審議会規則改正 鏡野町立私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱廃止 鏡野町立中学校部活動地域連携検討委員会設置要綱制定 職場におけるセクシュアルハラスメントの防止等に関する要綱改正 鏡野町立公民館長の任用及び勤務条件に関する要綱廃止 鏡野町郷土館運営委員会規約改正 鏡野町教育支援運営委員会設置要綱制定 鏡野町放課後子どもプラン運営委員会設置要綱の廃止 鏡野町立公民館長の採用 令和2年度教育目標・基本方針・重点課題の制定 鏡野町立鏡野中学校の文化部活動の方針の制定

② 教育総合会議の開催

総合教育会議は地教行法第1条の4に規定された会議で、教育大綱の策定、教育・学術・文化の振興のための重点的施策、児童・生徒の生命または身体に関する緊急措置などについて、首長と教育長が対等に協議及び調整を行うもので、必要に応じて随

時開催をしています。令和元年度の開催及び内容は次のとおりです。

12月12日	幼稚園、小・中学校の状況について、小学校の教育環境について
--------	-------------------------------

③ 研修

各種研修会等に参加して、識見の向上に努めています。

6月20日	美作地区市町村教育委員連絡協議会
8月11日	鏡野町教職員全員研修会
11月7日	岡山県市町村教育委員会委員研修会
11月20日	美作地区市町村教育委員連絡協議会秋季研修会

④ 施設訪問

所管施設の現状把握を目的に、町内の全小、中学校及び幼稚園、保育園、こども園公民館のうちからいくつかの施設を訪問しています。

10月1日	鏡野中学校
10月2日	南小学校、香々美小学校、郷公民館、芳野公民館
10月8日	奥津小学校、鶴喜小学校、泉公民館、羽出公民館、奥津公民館、小田公民館、中谷公民館
10月18日	香北小学校、大野小学校、香北公民館、大野公民館
10月25日	富小学校、上齋原小学校、上齋原公民館、かがみの中央こども園

2 教育委員会が管理執行する事務

① 基本的・総務的事務

教育行政重点施策の策定など教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針は、原案や資料を提出し、教育委員会で協議や審議を行っています。また、規則、告示及び訓令の制定、改廃は、教育委員会で審議し適切に行い、教育予算は、事務局が各学校等の意見を踏まえて作成し、町長部局を通じて議会に上程しています。

令和元年度は、令和2年度小中学校教科書について、津山教育事務所管内の教科書研究会、採択協議会の意見を参考に教育委員会で協議し採択しました。

② 人的管理に属する事務

町立小中学校教員の県費教職員の人事については、津山教育事務所と連携を図りながら、学力向上や特別な支援を要する児童生徒への対応など学校組織の強化を目指しています。また校内、校外における様々な研修を通して個々の教職員の資質・指導力向上を図るとともに、各校と連携を図りながら学校運営に関する必要な指示、連絡、指導助言等を行っています。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

(1) 学校教育

① 学力の向上

平成31年度（令和元年度）は、「学習習慣の形成」、「書く力・伝える力の育成」の2つの方針のもと、各校全職員で家庭学習の定着に向けた共通理解を図り、宿題提示や児童生徒の意欲を引き出す評価方法、考えを書いたり伝えたりする授業場面の設定、読書推進などに取組みました。また、町で統一した生活ノートを作成し、家庭学習スタンダードを活用しながら、保護者への啓発も行いました。取組の結果、改善した項目もありますが、学習時間の確保や書く力・伝える力の育成にはまだまだ課題が見られます。

保幼小中の連携については、校種間で連絡会を開催したり共通実践を設定したり、授業の参観をし合うなどして連続性のある教育活動に努めました。

このほか、プログラミング学習を推進するため必要な機器の整備やICT支援員の配置を行いました。

【全国学力学習状況調査】※正答率の全国との差

	年度	国語 A	国語 B	算数・数学 A	算数・数学 B	英語
小学校	平成29年度	-0.8	-2.5	1.4	0.1	
	平成30年度	-7.7	-3.7	-6.5	-4.5	
	令和元年度	-1.8		-1.6		
中学校	平成29年度	-2.4	-2	-4	-1	
	平成30年度	0.9	0.8	0.9	-1.9	
	令和元年度	0.2		-1.8		-4

注) 令和元年度は、それまでの各教科のA,Bがまとめられ、一体的に問う問題形式に変更されました。中学校の英語は令和元年度から始まりました。

② 豊かな心・健やかな体の育成

令和元年度は鏡野町生徒指導推進連絡協議会を3回開催し、保幼小中で「スマホとのつきあい方」、「地域を巻き込んだ生徒指導」に取組みました。

スマホを含むメディアについては、その使用方法により生活習慣の乱れに繋がるケースもあります。今後GIGAスクール構想に基づき一人1台に情報端末が渡されることなどからも、禁止するのではなく望ましい使い方を伝えていくことが必要ということになりました。また地域を巻き込んだ生徒指導については、三世代交流や学校開放などにより今後も地域と連携し、情報を共有していくことが必要です。

いじめについては、積極的な認知による未然防止と早期対応に組織として取り組みました。不登校については、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、関係機関と情報を共有して、一つ一つの事案に丁寧に根気強く対応しました。その結果、不登校・長期欠席の児童生徒の件数は増加していますが、登校する日が増えたり、鶴山塾に定期的に参加したりと外出する機会が増え、状態の改善が見られました。

また、学校教育課にスクールソーシャルワーカーを配置し、保健福祉課の臨床心理士と連携しながら、幼稚園、保育園、こども園、小中学校の巡回相談を行うことで、学校と園、行政、外部機関との情報共有や連携をスムーズに行うことができました。対応した事例には発達障害に関連したものが何件かあったことから、今後、発達障害や合理的配慮についての共通理解を図っていく必要があります。

【いじめ・長期欠席・不登校件数】※各年度4月の状況

		いじめ	長期欠席	不登校
小学校	平成29年度	1	0	0
	平成30年度	8	0	0
	平成31年度	4	2	2
中学校	平成29年度	0	3	3
	平成30年度	3	3	3
	平成31年度	0	6	6

③ 教職員の資質・指導力・組織力の向上

町教育研修会で部会ごとにテーマを決め、指導案の検討、公開授業などを通して授業研究や実践交流、情報交換を活発に行い、教職員の資質や指導力の向上を図りました。また、図工美術教育部会や道徳教育部会、特別支援教育部会・養護部会に幼稚園・保育園の職員も参加し、園校種間の連携につながるような研究も行いました。

各学校においては、講師を招聘しての校内研修会や校外の研修会・研究発表会への参加などを積極的に行いました。

8月の教職員全員研修会は、岡山県精神科医療センターから公認心理士の福田理尋先生をお迎えし、「スマホやネットとの付き合い方」についての研修を行いました。

【鏡野町教育研修会開催状況】

	部会数（休部を除く）	研修会回数合計
平成29年度	13部会＋2編集部	56回
平成30年度	15部会＋2編集部	62回
平成31年度（令和元年度）	13部会＋2編集部	54回

④ 特別な支援

各校の状況に応じて町費講師等の加配を行い、児童・生徒の個々のニーズにあったきめ細かい支援に努めました。

「鏡野町手をつなぐ育成会」と連携した各学校の特別支援学級に対する助成や、保健福祉課、保健指導推進センターなどとの連携による各校、園の巡回相談や、教育支援委員会などを通じ、通級指導教室や特別支援学級の利用につながりました。

【特別支援学級の状況等】

	年度	特別支援学級 児童生徒数	特別支援学級数	町費特別支援講師数
小学校	平成29年度	32	8	9

	平成 30 年度	2 9	8	8
	平成 31 年度 (令和元年度)	3 6	8	8
中学校	平成 29 年度	1 3	3	1
	平成 30 年度	1 5	3	1
	平成 31 年度 (令和元年度)	1 7	3	2

【就学前通級指導教室利用者数】※毎月の利用者数合計、平成 30 年度からの事業

平成 30 年度	4 3 人
平成 31 年度 (令和元年度)	2 2 人

⑤ 安全確保と教育条件の整備

平成 31 年度 (令和元年度) の施設整備については、南小学校屋内運動場の大規模改修、香北小学校屋内運動場の特定天井の改修を行いました。災害時の避難所となる施設のうち、大野小学校、香々美小学校、上齋原小学校、富小学校、鏡野中学校の屋内運動場のトイレを洋式化する工事を行いました。平成 30 年度からの繰り越し事業として幼稚園、保育園、小学校、中学校の塀の改修を行いました。学校給食共同調理場の大規模改修により、食材の安全を確保するため調理場内の空調を整備するなどしました。令和元年 10 月 12 日の台風の強風により発生した、鶴喜小学校屋上の防水シート破損については、令和 2 年度に復旧工事を行うことになりました。小規模な修繕についても、その都度対応し安全でより良い教育環境の整備に努めました。

児童生徒の安全については、各校園において危機管理マニュアルや防災マニュアルの作成や避難訓練、引き渡し訓練等を実施し、具体的な対応や体制づくりを行っています。

通学路の安全については、平成 27 年 2 月に策定した「鏡野町通学路交通安全プログラム」では 5 年に 1 回合同点検を実施することになってはいますが、児童生徒等に関連した大きな事故等が他の地域で発生した場合は、類似の箇所について関係部署や機関と連携して点検を行っています。このほか、随時青色パトロールカーによる巡回や点検を行っています。

令和元年度は交通安全と防犯の観点から、津山警察署、くらし安全課の協力のもとで点検し、該当箇所の安全対策について、検討や対応を行いました。

【通学路安全点検】

年度	箇所数	備考
平成 29 年度	3 2 箇所	交通危険箇所点検
平成 30 年度	1 1 箇所	防犯上危険箇所点検
令和元年度	1 5 箇所	防犯上 (6 箇所) 交通安全上 (9 箇所)

(2) 社会教育

① 生涯学習の推進

生涯学習は、中央公民館を中心に12の地区公民館を拠点として事業を行っています。

それぞれの公民館では主催講座、自主講座を開催しており、町民が目的に合わせて学習をしています。

中央公民館では大集会室、講座室、各会議室や総合文化施設、地区公民館を活用し主催講座14講座、自主講座19講座を開催しました。

地区公民館では講座・教室を開催し、地域活動も文化祭・運動会・世代間の交流行事などが活発に行われています。行事の企画・実施にあたっては地域づくり協議会や地域住民が中心となって取り組むことが多く、学習活動の広がりを見せています。公民館活動の担い手のひとつである文化協会会員の多数が鏡野地域の町民であることから、今後は町内全体に会員を増やすことが課題となります。

【地区公民館の講座・教室数】

	講座・教室		講座・教室		講座・教室
芳野 公民館	11	香南 公民館	11	羽出 公民館	11
大野 公民館	21	香北 公民館	8	奥津 公民館	6
小田 公民館	19	郷 公民館	16	上齋原公民館	12
中谷 公民館	13	泉 公民館	14	富 公民館	13

おおむね50歳以上の町民などを対象に鏡野中学校を利用し週1回、シニアスクールを開校しました。

人権については、世代に応じた講座のほか、命の大切さをテーマにした講演会を開催しました。

図書館は利用登録者数が1万1千人を超え、貸出密度（町民1人当たりの延べ貸出冊数）が8.8で利用者も貸し出し冊数も県下有数の高い水準を保っています。蔵書の充実を図ることはもちろん、子どもたちに本を好きになってもらうための「読み聞かせ」や「ブックスタート事業」などの活動を行いました。また、子どもの読書活動の推進を行い環境整備に取り組むため、第1次鏡野町子ども読書活動推進計画を策定しました。

【図書館の利用登録者数等】

年度	利用登録者数	開館日数	入館者数	貸出冊数
平成30年度	10,990人 (内訳) 町内6,429人 町外4,561人	288日	70,386人	119,717冊
平成31年度 (令和元年度)	11,298人 (内訳) 町内6,577人 町外4,721人	273日	66,621人	112,397冊

文芸振興では、万葉のみち青少年文芸選奨（現代詩・短歌・俳句・川柳の4部門）、香々美川文芸選奨（短歌・俳句・川柳の3部門）の表彰を行いました。

【文芸選奨の応募者人数】

年度	万葉のみち青少年文芸選奨					香々美川文芸選奨			
	現代詩	短歌	俳句	川柳	合計	短歌	俳句	川柳	合計
平成 30 年度	38	87	286	94	505	25	85	55	165
平成 31 年度 (令和元年度)	39	102	277	102	520	22	71	43	136

芸術活動では、町内などの音楽愛好家に発表の舞台を提供するなど普及に努めました。また、総合文化施設、中央公民館を利用し写真、絵画などの芸術作品の展示を行いました。今後もさまざまな分野の活動を支援していきます。

施設整備については、上齋原文化センターヴァルトホールの舞台機械設備修繕や芳野公民館のフェンス新設工事、大野公民館大集会室の照明設備LED化切替工事など、町民のみなさまに使いやすい施設となるよう努めました。

② 青少年の健全育成

子どもたちの支援として、土曜日教育支援事業、放課後子ども教室2教室、学校支援地域本部事業、いきいき生活体験宿、かがみのっ子表彰などを行いました。また、子育て中の保護者を対象に家庭教育に関する講演会・講座を開催しました。

③ 文化財の保護

文化財については、郷土博物館や奥津歴史資料館などを利用して体験講座を開催し、文化財保護意識の向上に努めました。また、平成29年度に岡山県の調査により町内の吉井川でチュウゴクオオサンショウウオの交雑種の存在が確認されたため、引き続き捕獲調査及び一時飼育・隔離飼育を行いました。（55匹を捕獲し、内15匹が交雑種）

(3) 体育振興

① 生涯スポーツの推進

生涯スポーツについては、文化スポーツセンター、B&G海洋センターを核として町内13施設で、多くの町民が快適にスポーツを楽しむことができるよう管理運営に努めました。

スポーツ推進委員会は地区公民館と連携して、ニュースポーツの指導を行い、高齢者などへのスポーツ普及に努めました。

ローラースキーかがみの大会は8月に112人の参加で開催し、かがみのハーフマラソン&健康マラソン大会はたくさんの方に参加していただけるよう「フレンズ&ファミリーの部」を継続し、1,037人の応募があった中で開催することができました。

B&G海洋センターの水泳教室は、初心者コース、チャレンジコース、選手コース、女性スイミングコースなど、目的に応じて運営しました。

総合型地域スポーツクラブ「かがみのスポーツクラブ」は、年間を通じて太極拳や筋バランスストレッチ、ニュースポーツ教室などを開催し、参加者からは好評を得ています。

今後も、会員、各教室参加者を募るとともに、安定的な運営のために、引き続き活動を支援していきます。

② 体育施設の管理

施設管理については、文化スポーツセンターなど体育・文化施設を指定管理者による管理で行い、効率的な運営に取り組みました。また、各施設をみなさんに安全に気持ちよく利用していただけるよう、文化スポーツセンターのトレーニング器具の購入や鏡野ドームのスポーツベンチの購入などを行いました。

多目的公園については、町民の憩いの場として幅広い年齢層の方が気軽に体を動かすことができる公園として、多目的広場、複合遊具などを備えた多目的公園を整備するため、建設予定地の土地購入を行いました。

IV 終わりに

平成31年度（令和元年度）の鏡野町教育委員会の事務の管理と執行状況に関する点検及び評価は上記のとおりとなりました。今後も町長部局と密接な連携を図るとともに、町民のための効果的な教育行政の展開に努めてまいります。